※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新探求古典Ｂ　古文編」／「新探求古典Ｂ　漢文編」（桐原書店）						
副教材等	古文単語 330（いいずな書店）、古典アチーブ（桐原書店）、体系古典文法（数研出版）、新明説漢文（尚文出版）　など						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文で大切な基礎力は「助動詞・助詞・敬語・古文単語」です。まずはこれを完璧にすること。
・漢文で大切な基礎力は「句法」と「重要語句」の習熟です。まずはこれを完璧にすること。
・古典も現代文同様、目先のことに心を奪われるのではなく、古典のすばらしさ・面白さ、伝統文化に対する愛着と深い理解を求めることが、結局は実力・教養を身につける唯一の道です。

２　学習の到達目標

優れた古典作品に触れることにより、伝統文化に対する理解を深め、人間に関する深い洞察力と、豊かな心を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	社会を知り、文化形成の主軸の一つである言語に関心をもつとともに、それを使用する能力の向上を図ろうとする。	本文読解や、知識や理解を深めるために読書をすることで、文章を的確に読み取ろうとする。	様々なジャンルの文章を読み取り、語彙、慣用句、漢字などを修得し、幅広い表現力を身につけようとする。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	授業及び定期考査における記述問題の確認、添削、分析	授業及び定期考査における記述問題の確認、添削、分析

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
前期	日記・評論Ⅰ	『蜻蛉日記』 「嘆きつつひとり寝る夜」 『俊頼髄脳』 「和歌の効用」 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中を」 『建礼門院右京大夫集』 「かかる夢見ぬ人やいひけむ」 『無名抄』 「俊成自賛歌のこと」	◎	○	○	a:平安・鎌倉期の日記・評論に対して興味を持ち、文章を積極的に読もうとしている。 d:表現に応じて物語の人物に共感しつつ、批評的に読みを深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a,d,e: 行動の観察 授業及び定期考査の確認、添削、分析

※令和３年度以前入学生用

	文章・思想	『漁父辞』 『墨子』 「非攻」	○	◎	○	a:漢文独特の表現や用語に対して興味を持ち、文章を積極的に読もうとしている。 d:本文に応じて登場人物の主張を理解しつつ、批評的に読みを深めている。 e:漢文を読むことに役立つ、句法や語彙を身に付けている。	a,d,e: 行動の観察 授業及び定期考査の確認、添削、分析
	史伝Ⅰ・詩	『史記』 「荊軻」 「長恨歌」	○	◎	○	a:漢文独特の表現や用語に対して興味を持ち、文章を積極的に読もうとしている。 d:本文に応じて登場人物の心情や行動を理解しつつ、批評的に読みを深めている。 e:漢文を読むことに役立つ、句法や語彙を身に付けている。	a,d,e: 行動の観察 授業及び定期考査の確認、添削、分析
後期	物語	『源氏物語』 「須磨」「紫上の死」	○	◎	○	a:平安期の物語に興味を持ち、文章を積極的に読もうとしている。 d:表現に応じて物語の人物に共感しつつ、批評的に読みを深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a,d,e: 行動の観察 授業及び定期考査の確認、添削、分析
	評論Ⅱ	『無名草子』 「小野小町」	○	◎	○	a:鎌倉期の評論に興味を持ち、文章を積極的に読もうとしている。 d:表現に応じて物語の人物に共感しつつ、批評的に読みを深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a,d,e: 行動の観察 授業及び定期考査の確認、添削、分析
	史伝Ⅱ	『史記』 「璧を完うして趙に帰る」 「刎頸の交はり」	○	◎	○	a:漢文独特の表現や用語に対して興味を持ち、文章を積極的に読もうとしている。 d:本文に応じて登場人物の心情や行動を理解しつつ、批評的に読みを深めている。 e:漢文を読むことに役立つ、句法や語彙を身に付けている。	a,d,e: 行動の観察 授業及び定期考査の確認、添削、分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。